

# Fusyo Collaboration letter

10 月 6 日

No.28

文責 廣田 秀俊



10 月になりました。後期の学習が始まっています。9 月 30 日は前期の最終日。前期終業式を各学年で取り組みました。2 年生の終業式ではこんな姿が見られました。

前期でついた【ピース】を皆で確かめ合い伝え合いました

【学んでピース】～学校で学んでついた力

・文章や字を書く力 ・そうじの力 ・はきものそろえ、あいさつ 等

【みんなでピース】～みんなでできた・頑張れた力

・ダンスの力 ・正対の力 ・拍手の力 ・友だちをつくる力 ・切り替える力 等

【明日へピース】～めあてを持ってがんばれた力

・静かにすること ・グローバルタイム 発表の言い方 等

振り返りの後は、後期に向けて視線を切り替えていきました。ピース一つずつにめあてを持つこと・前期についた力をレベルアップすること・課題を一つずつ頑張っていくことなど、目標を持って取り組んでいくことを誓い合いました。



10 月 2 日は後期始業の日でした。朝の時間に全校で始業式を行いました。各学年代表から前期の振り返りと後期への見通しを持った目標を述べてもらいました。

- 1 年生～【すすんでナイス】を頑張った。後期は【みんなでナイス】を頑張りたい。正対で話を聞く。
- 2 年生～三つのピースを頑張った。後期では人任せにせず、一人一人が責任を持って行動する。
- 3 年生～静かに素速く並ぶことを後期も続ける。気持ちを合わせて行事を成功させる。
- 4 年生～学年集会で言葉の重みを考え話し合ってきた。頑張っていることを凡事徹底していく。
- 5 年生～リーダーシップをキーワードに支え合いを行った。様々な場面で「さすが」の姿を見せる。
- 6 年生～何のためにするのかその先の意味を考える。後期は当たり前+αを行っていく。

とても頼もしい言葉が続きました。すでに行動を始めている学級、始業式後すぐに確かめ合う学年など、後期スタートの日から素敵な姿を多くの場面で見せてくれています。

子供たちも述べていた後期の行事も目白押しです。一人一人が自分の目標に向かって今できることを考え、行動していってくれると思っています。

校長からは「幸せ」について考えてもらう言葉を投げかけてみました。幸せであると言える時、自分も相手も幸せでありたいものです。どちらの立場から見ても幸せと言える幸せとは、どんな幸せなのかをみんなで考えていきたいと思っています。

